

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	kuschel ～クシエル～		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援 →InstagramやLINE等を活用し、保護者に普段の活動の様子をできる限り表出し、お子さまの成長や変化をお伝えしている事。	SNSの発信 →お子さまの様子をプライバシーを守りながら、できる限りタイムリーに情報発信ができるように心掛けている。	保護者どうしの横のつながりの場が提供できていない為、事業所からの発信のみではなく、保護者どうしの情報交換の場を積極的に設けていく。
2	児童が通所を楽しみにしてくれている。	療育事業所という認識は持ちつつ、お子さまに楽しい場所・楽しいスタッフだと思ってもらえるようなアプローチを心掛けている。	根底に楽しんでもらう活動をしつつ、更に療育の観点からも内容の濃い活動を考えていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害対策や緊急時の対応の共有が不足している。	活動に対して重きを置きすぎているが為に、緊急時の対応等に時間をあまり割けていなかった。	避難訓練の実施や、活動中に危険予測や緊急時の対応等の学習を盛り込んでいく。
2	地域の幼稚園や保育園との関わりの機会が少ない	送迎時等に幼稚園や保育園の先生とコミュニケーションを取るだけで済ましてしまっている事と、こちらから保護者を介して幼稚園や保育園にアプローチができていない為。	イベント等を通じて、地域の幼稚園や保育園とも連携し活動を進めていくのが望ましい。
3			